

YAMAHA **ELECTRONIC PIANO**

CP25

●エレクトロニック・ピアノ 取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ・エレクトロニックピアノ**CP25**をお買い上げ
いただきまして、まことにありがとうございました。

CP25はタッチによる音量変化を得るためのタッチレスポンス機能
を持ち、音源系列は2系列または1系列の切り換えができ、また音
色は組み合わせ可能な4種類の音色でより多彩なサウンドバリエー
ションを作り出せます。

各系列ごとのピッチ、ディケイのコントロールの他、トレモロ、フ
ランジャー効果、サステイン機能を備え、ピアニステイックなジャ
ズから、きらびやかなバロックまで多様な音創りができるコンパク
トな電子発振式ピアノです。

CP25を楽しくお使いいただくためにこの取扱説明書をご使用の前
にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

■目次

| | ページ |
|-----------------------|-----|
| ご使用になる前に／次のことにご注意ください | 2 |
| 各部の名称 | 3 |
| 組み立て手順 | 4 |
| 各部の名称と操作 | 5 |
| 接続図 | 8 |
| 仕様・音域 | 9 |
| プロックダイアグラム | 10 |
| アフターサービス | 11 |

ご使用になる前に／次のことにご注意ください



設置場所について

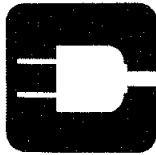
次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

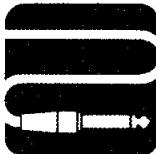
コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外（例えば200V）の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



接続について

8ページの「接続図」をよく読み、正しく接続をしてください。

また、スピーカーへ破損防止のため機器接続の際は、それぞれの電源スイッチをOFFにしてからおこなってください。



外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れには、必ず柔らかい布でからふきするようにしてください。



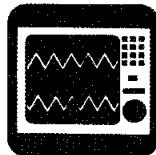
保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。



他の電気機器への影響について

このセットはデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどの電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離してご使用ください。

音楽を楽しむエチケット

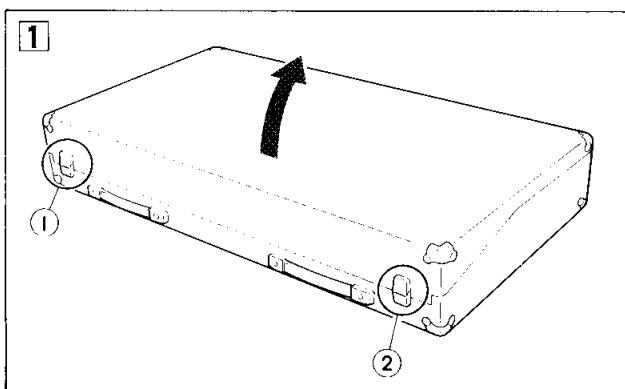
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

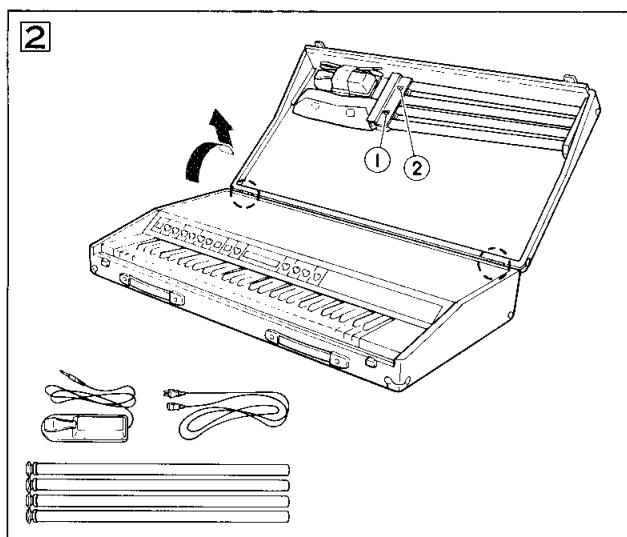
各部の名称



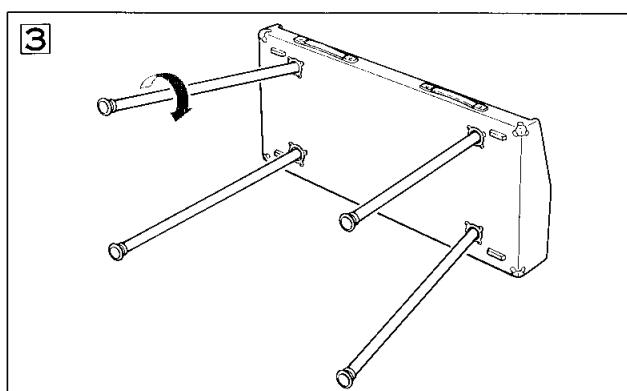
組み立て手順



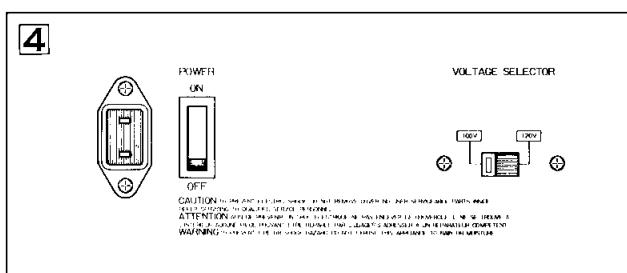
- 本体を図のように床に置き、①・②のバッチャン錐をはずし上蓋を開きます。



- 上蓋を②のように開き蝶番から持ち上げてはずします。
上蓋内には ACコード、脚、サスティンペダルが収納されています。
- 上蓋内に脚を固定している蝶ネジ①・②をはずし脚を取り出します。



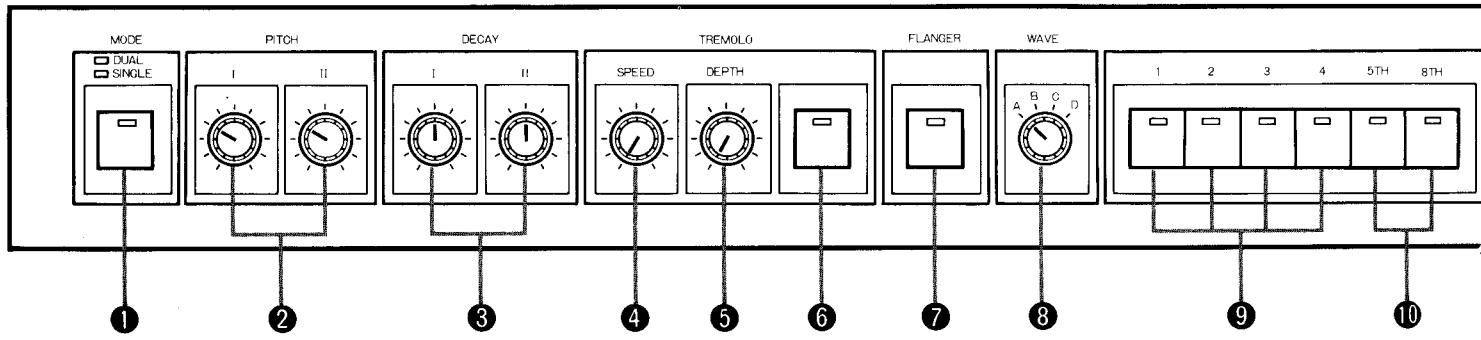
- 図のように本体を起こし、脚4本をネジ込んで取り付けます。
注) 脚をネジ込む際、ネジ山部分に完全に噛み合うよう注意して取り付けてください。
- 使用状態に設置後、アンプへの出力コード、サスティンペダルを接続してください。



- VOLTAGE SELECTOR(ボルテージセレクタ)電圧切り換えスイッチは工場出荷時にAC 100Vにセットされています。スイッチが図のようになっていることを確認し、スイッチには触れないようにしてください。

各部の名称と操作

コントロールパネル(フロントパネル)



① MODE(モードスイッチ)

DUAL(デュアル)/SINGLE(シングル)

鍵盤を押して発音する最大発音数と発音源の系列を選択するスイッチです。

DUALモード：最大8音発音可能で2つの音源(2系列)で発音します。

SINGLEモード：最大16音発音可能で1つの音源(1系列)で発音します。

LEDインジケーターが点灯しているとDUALモード、スイッチを押し消灯しているときはSINGLEモードとなります。

なお、POWERスイッチをONした時点ではMODEスイッチは自動的に点灯しDUALモードになります。

② PITCH I、II(ピッチコントロール)

PITCH I のツマミで ch I を、PITCH II のツマミで ch II のピッチを調整します。

ツマミを右に回すとピッチが上がり、左に回すとピッチが下がります。ch I と ch II のピッチを意識的に変えないとアイチューン効果が得られ、音の厚みを増したり、ホンキートンク・サウンドが創れます。

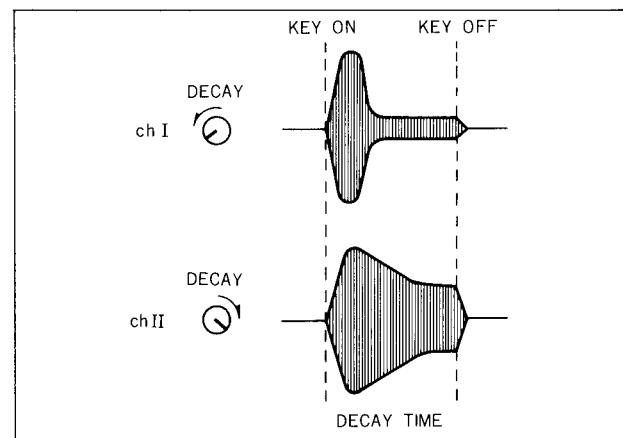
ピッチの可変範囲は約436～453Hzとなっており、ツマミの位置は時計の10時の方向が標準ピッチA3で約440Hzになります。

MODEスイッチがSINGLEの場合はPITCH IIの変化は得られません。

③ DECAY I、II(ディケイコントロール)

DECAY I のツマミで ch I を、DECAY II のツマミで ch II の減衰時間をコントロールします。

ツマミを右に回すと音の減衰時間が長くなり、左に回すと音は早く減衰します。ch I と ch II に対してそれぞれ8段階にコントロールできますので、各音源の音色やPITCHなどを変えてミックスし、DECAYを調整すると音の立ち上がり部と持続部で音色の変化が得られ、新しい感覚のサウンドが生まれます。また、ディケイタイムを長くセットすることでオルガン奏法にも似た演奏性も可能にします。



MODEスイッチがSINGLEの場合はDECAY IIの変化は得られません。

④ TREMOLO : SPEED(トレモロ:スピード)

トレモロは音の振幅をくり返し増減させてふるわせる効果で、音に広がりを持たせます。

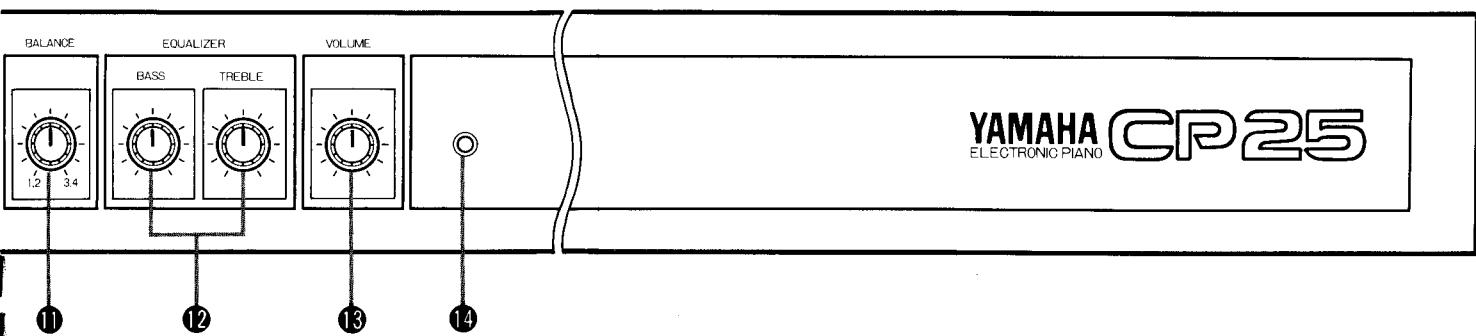
ツマミを右に回すとトレモロ効果のスピードが速くなり、左に回すと遅くなります。また、OUT①、OUT②に別々にアンプを接続して効果をかけると音が左右に振れ音像に広がりが生まれます。

⑤ TREMOLO : DEPTH(トレモロ:テブス)

トレモロ効果の深さをコントロールします。

ツマミを右に回すとトレモロ効果が深くなり、左に回すと浅くなります。

| トレモロスピード | トレモロテブス | トレモロ出力 |
|-----------------------|-----------------------------|--------------|
| SPEED 遅くなる | DEPTH トレモロが浅くかかる | OUT① |
| SPEED 速くなる | DEPTH トレモロが深くかかる | OUT② |



YAMAHA CP25

⑥ TREMOLO : SW(トレモロ:スイッチ)

トレモロ効果をON、OFFするスイッチです。トレモロスイッチを押すと LED インジケーターが点灯し、トレモロ回路が動作していることを示します。

OUT①とOUT②では逆位相のトレモロ効果がかかった音が出力されます。OUT①、OUT②からのトレモロ効果のかかった信号どうしをミキサーを使ってモノラル信号にミキシングすると、トレモロ効果は得られません。

⑦ FLANGER(フランジャー:スイッチ)

ロングトーンに対して独特の強い個性を持つたうねりを作り出すフランジング効果が得られるスイッチです。フランジャー:スイッチを押すと LED インジケーターが点灯し、フランジャー回路が動作していることを示します。

⑧ WAVE(ウェーブ)

音源波形を選択するスイッチです。細やかな音色ニュアンス表現のために、音源波形はA・B・C・Dの4種類があります。

⑨ FILTER(フィルタースイッチ)

WAVE⑧で選択された波形を1、2、3、4のいずれかに選択するスイッチです。

1. ローパスフィルターが働きますので、まるみのある音が得られます。
2. 1よりローパスフィルターのカットオフ周波数が高くなっていますので、1よりやや固めの音となります。
3. バンドパスフィルターが働きますので比較的クリアな音色が得られます。
4. ハイパスフィルターが働きますので固めの音が得られます。

音創りのポイント：音創りは、フィルター1～4の組み合わせだけでなくDECAYツマミとWAVEのA.B.C.Dの切換操作によっても音色に変化を与えることができます。

特に、DUALモード時のDECAYツマミの操作は、音色全体に変化を与えることができますので、多彩な音創りにご活用ください。

⑩ 5TH、8TH(5度、8度)

スイッチを押して“ON”にするとLEDインジケーターが点灯し、chⅡの音程をchⅠに比較して次の3段階に上げることができます。(MODEスイッチ:DUAL時)

- 5 THスイッチ“ON”→完全5度上がる
- 8 THスイッチ“ON”→完全8度(オクターブ)上がる
- 5 THスイッチ“ON”+8 THスイッチ“ON”→完全12度(オクターブと完全5度)上がる

MODEスイッチがSINGLEの場合は、全体の音程が上がるピッチトランスポーズとして働きます。

⑪ BALANCE(バランスコントロール)

フィルタースイッチ⑨の1、2と3、4の音をミックスするツマミです。

ツマミを右に回すと3または4の音色が強調され、ツマミを左に回すと1または2の音色が強調されます。

フィルタースイッチを選択していない側へバランスを回すと音は出ません。

例：FILTERスイッチ1を選択——BALANCE3・4側いっぱいに回した場合。

⑫ EQUALIZER(イコライザーコントロール)

● BASS : ツマミを右に回すと低域が強調され、重厚な音色が得られます。左に回すと弱められます。センターでほぼフラットになります。

● TREBLE : ツマミを右に回すと高域が強調され、軽快な音色になります。左に回すと弱められます。センターでほぼフラットになります。

⑬ VOLUME(ボリュームコントロール)

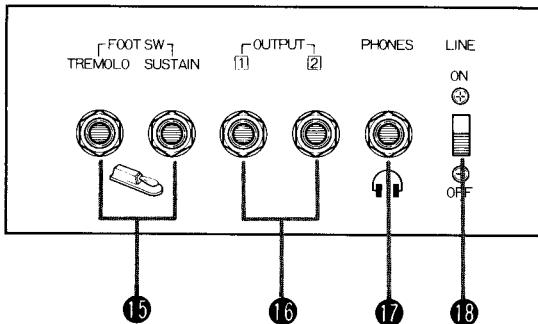
全体の音量を調整します。

ツマミを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。

⑭ POWER INDICATOR(電源表示灯)

リアパネルのPOWER(電源)スイッチをONにすると点灯します。

サイドパネル



⑯ FOOT SW(フットスイッチ接続端子)

● TREMOLO(トレモロON、OFF切換端子)

この端子にフットスイッチを接続しますとフロントパネルのトレモロスイッチと同様に、曲の途中でトレモロ効果を得たいときにON、必要のないときにOFFすることができます。

フロントパネルのトレモロスイッチがOFFの場合でもフットスイッチを踏むとトレモロ効果がかかります。フロントパネルのトレモロスイッチがONの場合はフットスイッチに関係なくトレモロ効果がかかります。

● SUSTAIN(サスティンON・OFF切換端子)

この端子にフットスイッチを接続しますと、フットスイッチによりサスティン効果のON、OFFがコントロールできます。この場合、DECAYツマミで設定された減衰時間でのサスティン効果が得られます。

本体にはフットスイッチ(FC-4)が1個付属品として含まれています。
TREMOLO、SUSCIN両方にご使用の場合は別売のフットスイッチ(FC-4またはFC-5)をご利用ください。

⑯ OUTPUT ①、②(アンバランス型出力端子)

出力端子で楽器用アンプに接続する場合、標準ホーンプラグを用いて接続します。

トレモロ効果をかけたときに①、②には逆位相のトレモロ効果出力が得られます。トレモロ効果をかけないとき①、②には同じ信号が出力されます。

⑰ PHONES(ヘッドホーン出力端子)

ヘッドホーン端子は出力をモニターすることができます。ヘッドホーンはステレオタイプ、モノラルタイプどちらでも使用できます。ヘッドホーンの音量はボリュームコントロール⑬で調整します。

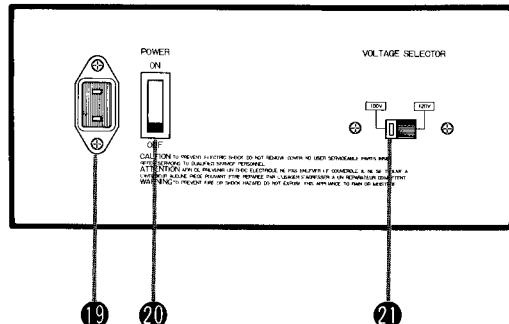
⑱ LINE(ラインON / OFFスイッチ)

出力端子⑯の出力信号をON/OFFするスイッチです。ヘッドホーン端子はLINE ON/OFFに関係なくモニターが可能です。

⑲ AC INLET(AC入力コンセント)

付属のACコードのプラグを接続します。

リアパネル



⑳ POWER(電源スイッチ)

電源のON/OFFスイッチです。

ONでフロントパネルのPOWERインジケーター、MODEスイッチ、FILTER1および3のインジケーターが点灯します。

MODEスイッチは電源スイッチをONにすると自動的にDUAL(8音2系列)モードとなります。

㉑ VOLTAGE SELECTOR(電圧切換器)

VOLTAGE SELECTOR(ボルテージセレクタ)電圧切り換えスイッチは工場出荷時にAC100Vにセットされています。スイッチが図のようになっていることを確認し、スイッチには触れないようにしてください。

モードスイッチについて

MODEスイッチの切り換えによって音源の系列が SINGLEモードの場合 I 系列のみで働き、DUALモードの場合 I 系列と II 系列の2つの独立した系列で働きります。このため、MODEスイッチの切り換えによってPITCHツマミ、DECAYツマミ、5TH、8THスイッチの使い方が異なります。

1. DUAL(デュアル)モード時……

LEDインジケーター “点灯”

2つの系列が同時に働きます。I 系列に対しては PITCH I、DECAY I、II 系列に対しては PITCH II、DECAY II のツマミでそれぞれに作用します。5TH、8THスイッチは II 系列のみに作用します。これにより、I 系列の音程に対して II 系列の音程を5度上げる(5THスイッチが“ON”)、1オクターブ上げる(8THスイッチ“ON”)、1オクターブと5度上げる(5THスイッチと8THスイッチ両方が“ON”)ことができます。これにより音の厚みを増すことができ、多彩な音創りが可能になります。

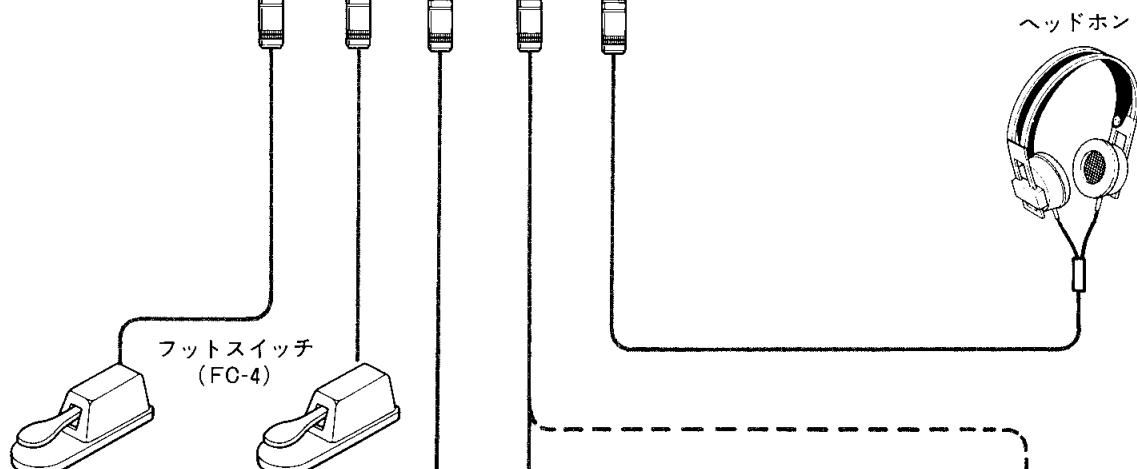
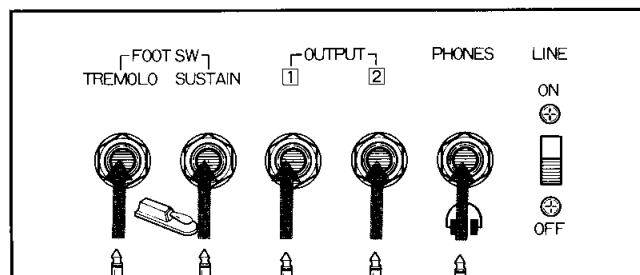
2. SINGLE(シングル)モード時……

LEDインジケーター “消灯”

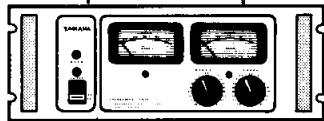
1つの系列(I 系列)として働きますのでコントロールは PITCH I、DECAY I で行ないます。PITCH II、DECAY II ではツマミを回しても変化は得られません。5TH、8THスイッチは全体の音程を5度、1オクターブ、1オクターブと5度、上げるピッチランスポーズとして働きます。

接続図

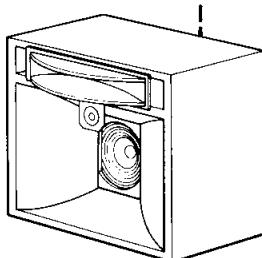
CP25 左 サイドパネル



ミキサー

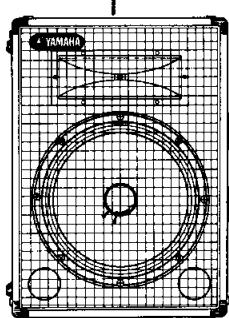


パワーアンプ

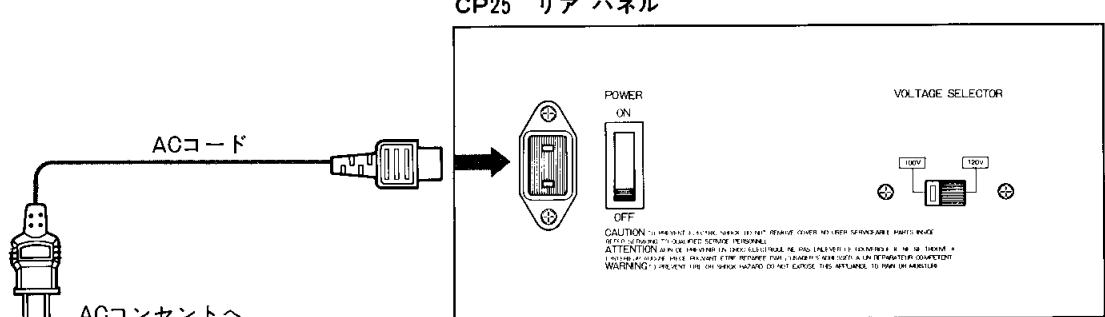


スピーカーシステム

CP25 リア パネル



パワーアンプ内蔵 スピーカーシステム

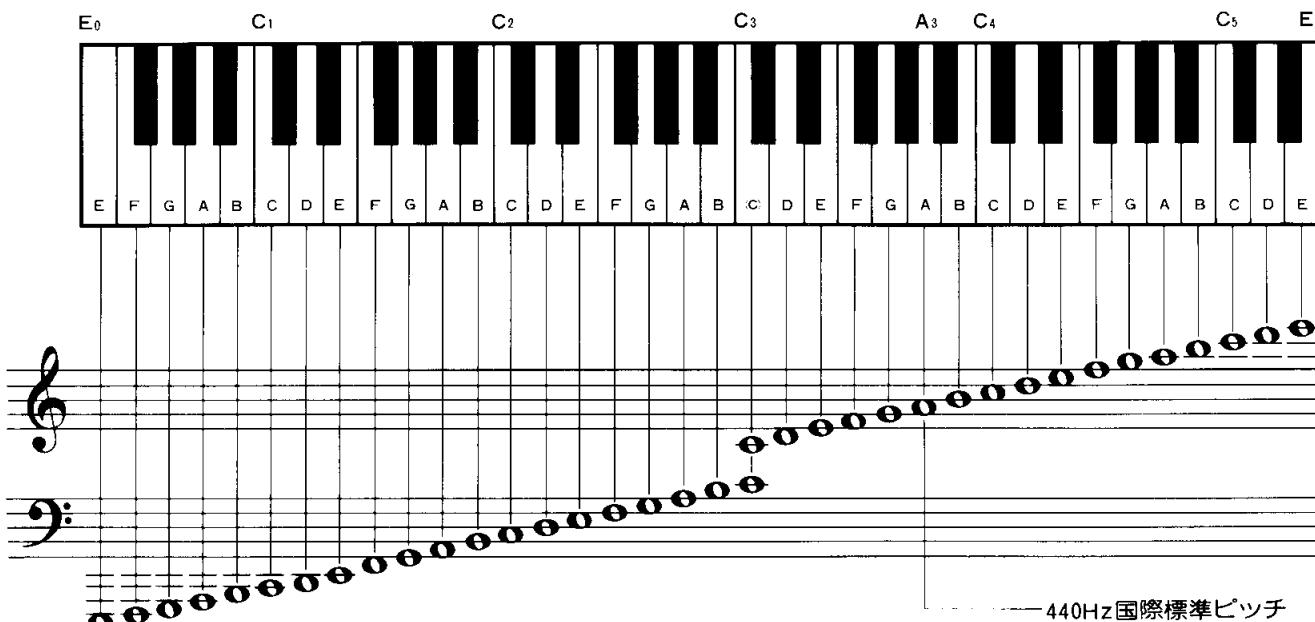


仕様・音域

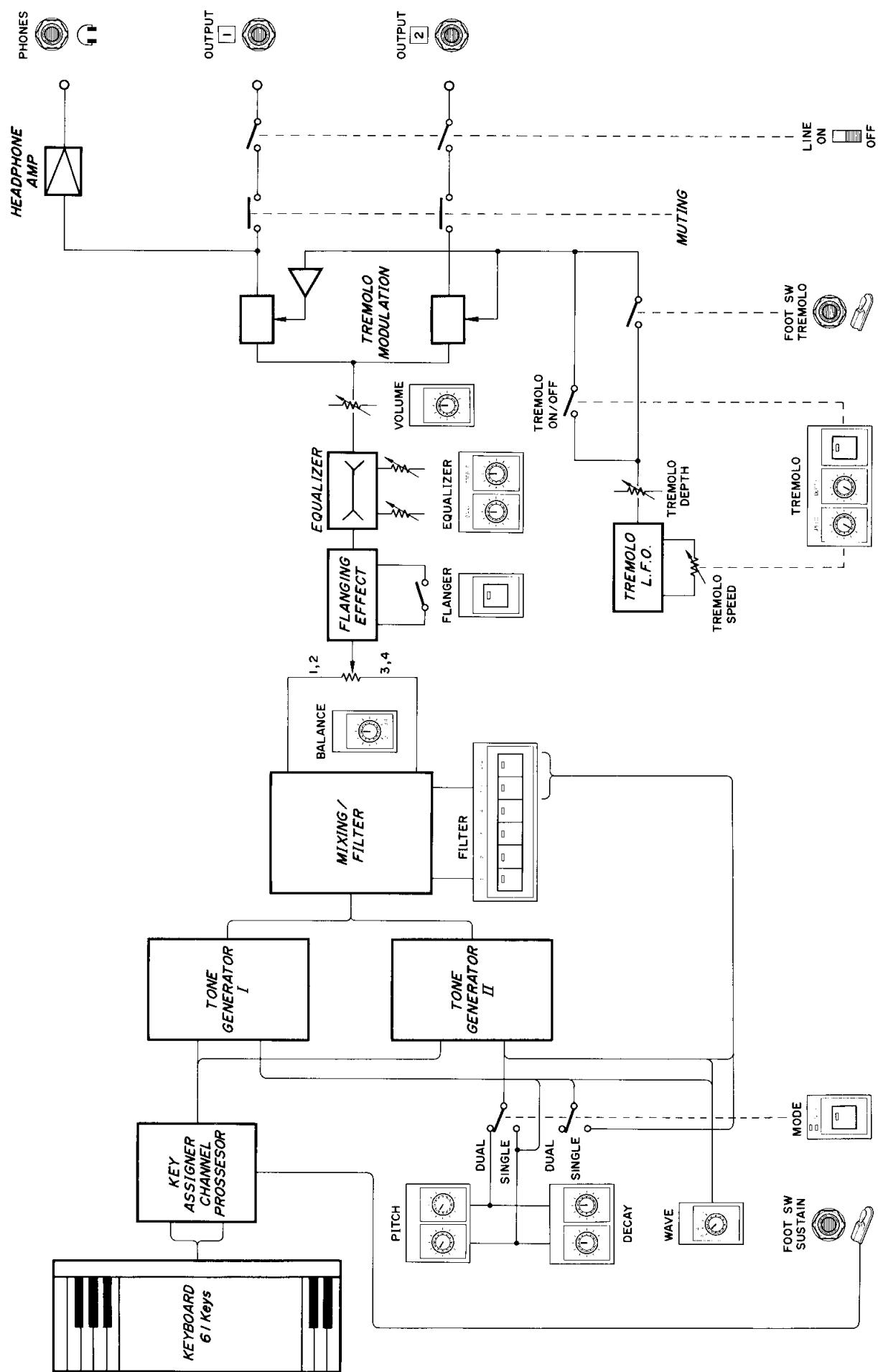
■仕様

- 鍵盤 61鍵盤 (E₀~E₅)
 - タッチレスポンス機構付
 - 最大発音数16音1系列 (MODE SINGLE時)
 - または8音2系列 (MODE DUAL時)
 - コントロール ... MODE DUAL/SINGLEスイッチ
 パネル) PITCH I コントロール
 (フロント/パネル) PITCH II コントロール
 DECAY I 8ポジションスイッチ
 DECAY II 8ポジションスイッチ
 TREMOLO SPEED コントロール
 TREMOLO DEPTH コントロール
 TREMOLO ON/OFFスイッチ
 FLANGER ON/OFFスイッチ
 WAVE A.B.C.D
 FILTER 1、2、3、4
 ON/OFFスイッチ
 5TH ON/OFFスイッチ
 5度UPスイッチ
 8TH ON/OFFスイッチ
 8度(1oct)UPスイッチ
 BALANCE 1、2↔3、4
 コントロール
 EQUALIZER BASS コントロール
 TREBLE
 VOLUME
 コントロール
 - サイドパネル部 ... FOOT SW TREMOLO }
 SUSTAIN }
 OUTPUT① } ホーン
 OUTPUT② } ジャック
 PHONES
 LINE SW ON/OFFスイッチ
 - 定格電源電圧 AC 100V
 - 定格電源周波数 50/60Hz
 - 定格消費電力 20W
 - 外装 仕上...外装 レザー仕上
 天屋根 ピックボルト
 ローズ化粧
 間口...1,063mm
 奥行...596mm
 全高...189mm
 重量...41kg
 - 付属品 フットスイッチ(FC-4) × 1
- ※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。

■音域



ブロックダイアグラム



アフターサービス

●保証

エレクトロニックピアノの保証期間は、保証書によりご購入日から1カ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げ年月日、販売店名などが必ず記入されていることをご確認ください。無記入の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種の判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、お求めになられた販売店あるいは、日本楽器支店の電音サービス係までご連絡頂きますと技術者が修理、調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。

お求めの販売店から遠方に移転される場合は、事前に弊社支店までご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもつて行なうよう手続きをいたします。

●保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となります。引き続き責任をもつてサービスをさせていただきます。

なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点がございましたら、下記ヤマハサービス網までお問い合わせください。

●サービス網

- 東京支店 電音サービス係 ☎(03) 572-3341 東京都中央区銀座7-11-3矢島ビル4F
- 横浜支店 電音サービス係 ☎(045)212-4852 横浜市中区本町6-61-1
- 千葉支店 電音サービス係 ☎(0472)47-6611 千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内
- 関東支店 電音サービス係 ☎(0273)27-3322 群馬県高崎市歌川町8番地/高崎センター内
- 大阪支店 電音サービス係 ☎(06) 877-5262 大阪府吹田市新芦屋下1-16
- 神戸支店 電音サービス係 ☎(078)232-1111 神戸市中央区浜辺通6-1-36
- 四国支店 電音サービス係 ☎(0878)33-2233 高松市西宝町2丁目6-44
- 名古屋支店 電音サービス係 ☎(052)231-2432 名古屋市中区錦1-18-28
- 北陸支店 電音サービス係 ☎(0762)43-5341 石川県金沢市泉本町7-7
- 九州支店 電音サービス係 ☎(092)472-2151 福岡市博多区博多駅前2-11-4
- 北海道支店 電音サービス係 ☎(011)512-6114 札幌市中央区南十条西1丁目4 / ヤマハセンター内
- 仙台支店 電音サービス係 ☎(0222)95-6111 仙台市原町南目薬師堂北2-1
- 広島支店 電音サービス係 ☎(08287)4-3787 広島市安佐南区紙園町西原2205-3
- 浜松支店 電音サービス係 ☎(0534)56-9211 浜松市東伊場2-14-1 / ヤマハエレクトーン・ステレオサービスセンター

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL. 0534(65)1111

東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-9-18//パールビル内
TEL. 03(572)3111

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL. 03(572)3131

渋谷店 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大宗ビル内
TEL. 03(476)5441

池袋店 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL. 03(981)5271

池袋東ショッピングセンター 〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1/
ブランズウイックススポーツガーデン内
TEL. 03(983)9914

ヤマハ 吉祥寺センター 〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル内
TEL. 0422(21)7182

横浜支店 〒231 横浜市中区本町6-61-1
TEL. 045(212)3111

横浜店 〒220 横浜市西区南幸2-15-13
TEL. 045(311)1201

千葉支店 〒280 千葉市千葉港2-1/千葉コミュニティセンター内
TEL. 0472(47)6611

関東支店 〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内
TEL. 0273(27)3366

大阪支店 〒542 大阪市南区末吉橋通4丁目8/
心斎橋プラザビル東館(8,9階)
TEL. 06(251)1111

心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL. 06(211)8331

梅田店 〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第1ビル内
TEL. 06(345)4731

神戸支店 〒651 神戸市中央区浜辺通り6丁目1の36
TEL. 078(232)1111

神戸店 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3
TEL. 078(321)1191

四国支店 〒760 高松市西宝町2丁目6-44
TEL. 0878(33)2233

四国店 〒760 高松市丸亀町8-7
TEL. 0878(51)7777

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. 052(201)5141

北陸支店 〒921 金沢市泉本町7-7
TEL. 0762(43)6111

九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. 092(472)2151

福岡店 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL. 092(721)7621

小倉店 〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
TEL. 093(531)4331

北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4/ヤマハセンター
TEL. 011(512)6111

仙台支店 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
TEL. 0222(95)6111

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL. 0222(27)8511

広島支店 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル内
TEL. 0822(21)4122

広島店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL. 0822(48)4511

浜松支店 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル内
TEL. 0534(54)4116

浜松店 〒430 浜松市鍛冶町122
TEL. 0534(54)4111

